

## 富山県の「新たながん診療体制」について

富山県健康課

### 平成26年度までの「富山型がん診療体制」

- 本県では、10のがん診療連携拠点病院（国指定8病院+県指定2病院）が、各病院の得意分野である部位別機能を活かしながら連携協力し、県全体のがん医療の均てん化や、がん医療水準の向上を図ってきた。
- 県の拠点病院である県立中央病院は、連携の中心的役割を担うとともに、県全体のがん診療体制の充実に努めてきた。
- 特定機能病院・人材育成拠点病院である富山大学付属病院は、高度先端医療を提供するとともに、県全体のがん診療人材の育成に努めてきた。

#### 高齢化の進展に伴うがん患者の増

- 団塊世代が75歳以上になる平成37年には、がん罹患者数は現在の約1割増の1万人にほぼ達すると試算されている。
- 今後の高齢がん患者増加を見据え、県民があまねく適切ながん医療を享受できるよう、がん診療体制のさらなる充実が必要。

#### 「診療体制部会」の意見

- 平成27年度からの国指定拠点病院の推薦にあたり、県がん対策推進協議会「診療体制部会」において、各病院の診療実績等について個別にヒアリングを実施し、その結果を踏まえ、昨年10月に次のとおり部会において意見書をまとめられた。
  - ① 本県の各拠点病院間の診療実績等に差が生じている
  - ② 病院の部位別機能は患者ニーズに沿った形での実績を十分に上げきれていない
 といった課題があり、部位別担当病院の撤廃を行い、実態に沿ったがん診療体制の構築を求める。

### 富山県の「新たながん診療体制」

- 引き続き、10病院（国指定7病院+県指定3病院）が連携協力し、病院毎の特性を活かしながら、二次医療圏毎に、集学的医療、緩和ケア、在宅療養支援を提供できる体制を構築。
- 県立中央病院は、連携の中心的役割を担うとともに、県全体のがん診療体制のさらなる充実に向け、高度画像診断センター、内視鏡センター等を整備。
- 富山大学付属病院は、高度先端医療を提供するとともに、専門看護師教育課程で「がん専門看護師」を養成するなど、県全体のがん診療人材の育成を推進。

# これまでの富山型がん診療体制

国の指定を受けているがん診療連携拠点病院(8病院)と、県独自指定の2病院、PETセンターが連携した「富山型がん診療体制」により、県全体のがん医療の均てん化やがん医療水準の強化を図る。

## 全県的な機能

- ・5大がん以外のがん(肺、頭頸部、膀胱、腎、小児、造血器のがん、職業のがん)に対応

県がん診療連携拠点病院  
(県立中央病院)

がん診療人材育成の拠点  
特定機能病院(がん治療部)  
(富山大学附属病院)

共同利用型PETセンター  
(画像情報オンライン)

## 地域がん診療連携拠点病院の機能

- ・5大がん(肺、胃、肝、大腸、乳がん)の治療に対応
- ・セカンドオピニオン、緩和ケア、病病・病診連携の推進
- ・地域連携クリティカルパスの運用と相談支援センターの運営
- ・担当分野について、臨床研究の推進、がん情報の収集と発信、医療従事者等への研修

### 【高岡医療圏】

市立砺波総合病院  
(肝がん)

厚生連高岡病院  
(化学療法)

### 【富山医療圏】

高岡市民病院  
(女性のがん)  
(放射線療法)

富山市民病院  
(胃・大腸がん)

### 【新川医療圏】

黒部市民病院  
(血液がん)

富山労災病院  
(悪性中皮腫)

済生会高岡病院  
(在宅緩和ケア)

富山赤十字病院  
(在宅緩和ケア)

# 富山県の新たながん診療体制

- ・拠点病院間連携の中心的役割を担う
- ・県全体のがん診療体制の充実に向け、内視鏡センター、内視鏡センター、低侵襲手術センターを整備

県立中央病院  
(県がん診療連携拠点病院)

高岡市民病院  
厚生連  
高岡病院

済生会  
高岡病院

富山労災  
病院

黒部市民  
病院

在宅療養支援  
専門緩和ケア  
集学的医療

県立中央  
病院  
富山大学  
附属病院  
富山赤十字  
病院  
富山市民  
病院

富山大学附属  
病院  
特定機能病院  
人材育成拠点

在宅療養支援  
専門緩和ケア  
集学的医療

砺波総合  
病院

在宅療養支援  
専門緩和ケア  
集学的医療

- ・特定機能病院として高度
- ・先端医療の提供
- ・がん診療人材育成の拠点